

病 院 増 床 事 前 協 議 書

(ポートアイランド病院)

病院増床事前協議書

1. 開設者に関する事項

(開設者が法人である場合)

法人の種類	一般財団法人		設立年月日	1915年10月1日	
名称	神戸マリナーズ厚生会				
主たる事務所の所在地	兵庫県神戸市中央区中山手通 7-3-18				
代表者	氏名	井上 一成	住所		
法人の目的、事業	<p>「目的」</p> <p>(1) 病院等の医療事業及び介護事業の運営に関する事項</p> <p>(2) 海上労働医学の調査研究及びその広報に関する事項</p> <p>(3) 福利厚生施設の設置及び運営に関する事項</p> <p>(4) 医療援護に関する事項</p> <p>(5) その他この法人の目的を達成するために必要な事項</p> <p>「事業」</p> <p>病院、マリナーズ山手ケアプランセンター</p>				
法人が現に、病院若しくは診療所を開設している場合には、当該医療機関の概要	施設の種類	名称	所在地	病床数	備考
	病院	一般財団法人神戸マリナーズ厚生会病院	兵庫県神戸市中央区中山手通 7-3-18	199	
		一般財団法人神戸マリナーズ厚生会ポートアイランド病院	神戸市中央区港島中町 4 丁目 6 番地	212	
一般財団法人神戸マリナーズ厚生会由井病院		兵庫県神戸市兵庫区菊水町 5 丁目 2-3	59		
自己資本比率 (医療法人の場合)					

2. 増床の内容に関する事項

(1) 基本的事項

名 称	一般財団法人神戸マリナーズ厚生会ポートアイランド病院		
開 設 の 場 所	神戸市中央区港島中町 4 丁目 6 番地		
増 改 築 予 定 年 月	令和 2 年 7 月 1 日		
診 療 科 目	旧	内科・循環器内科・消化器内科・小児神経内科・心療内科・外科 整形外科・泌尿器科・皮膚科・リハビリテーション科、放射線科 人工透析内科、脳神経外科	
	新	同上	
病 床 数	旧	212 床 (一般 144 床・療養 68 床・精神 0 床・結核 0 床)	
		病床機能区分 (医療法施行規則第 30 条の 33 の 2) による分類 (高度急性期 0 床、急性期 41 床、回復期 103 床、慢性期 68 床)	
	新	271 床 (一般 144 床・療養 127 床・精神 0 床・結核 0 床)	
		病床機能区分 (医療法施行規則第 30 条の 33 の 2) による分類 (高度急性期 0 床、急性期 0 床、回復期 144 床、慢性期 127 床)	
病床の利用内容 (看護単位ごとに)	旧	一般 59 室 144 床 利用率 83%	療養 24 室 68 床 利用率 97%
		室 床 利用率 %	室 床 利用率 %
	新	一般 57 室 144 床 利用率 90%	療養 46 室 127 床 利用率 95%
		室 床 利用率 %	室 床 利用率 %
増床の理由及び 病床数設定の考え方	基準看護又は新看護の内容		
	<p>10:1 (障害者病棟)</p> <p>15:1 (回復期リハビリ病棟)</p> <p>13:1 (地域包括病棟)</p> <p>20:1 (医療療養病棟)</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・提供する医療の内容 ・当該地域の医療事情 ・近隣医療機関との連携等 	規則第 30 条の 32 第 1 項の規定による特例		
	<p>有 (号 床) ・ <input type="checkbox"/> 無</p> <p>■増床の理由及び病床数設定の考え方</p> <p>①神戸圏域における「地域医療構想」に基づき、高齢化の進展による在宅医療の需要増大等に対応するため中央区において不足している慢性期、ならびに神戸市立医療センター中央市民病院からの患者受入に対応するため、不足する回復期の病床を増やす。</p> <p>②令和 1 年 7 月 1 日に財団が継承・開設した一般財団法人神戸マリナーズ厚生会由井病院の 59 床 (医療療養病棟 59 床) を一般財団法人神戸マリナーズ厚生会ポートアイランド病院への病床移転を要望するものである。</p> <p>■提供する医療の内容</p> <p>・ケアミックス病院として、地域に根付いた医療を展開することを前提として、当院の特徴での一つである「透析医療」を活かし、透析患者の入院に関して、自宅に戻ってもらえるための「回復期リハビリ病棟」や「地域包括病棟」に力を入れたい。</p>		

		<p>■当該地域の事情</p> <p>・地域であるポートアイランドにおいては、住民の高齢化が進み、療養病棟についても必要度が上昇している。</p> <p>■近隣医療機関との連携等</p> <p>・神戸市立医療センター中央市民病院を中心として急性期医療を行う病院があることから、当院のケアミックス病床を経由して、近隣医療機関との病診・病病・介護施設との連携を十分行っている。</p>	
敷地の状況	面積		
	自己所有予定の場合	取得の状況	取得済 ・ 取得交渉中 ・ 未交渉
		交渉状況	
	自己所有予定でない場合	所有者	
使用形態		<input type="checkbox"/> 賃貸借 ・ その他 ()	
他法令解除の必要性	有 ・ <input type="checkbox"/> 無 内容 ()		
建物の状況	構造概要	鉄骨造 11階建 地下1階 延床面積 28,108.82㎡	
	所有予定者	社会福祉法人 成晃会	
	自己所有予定でない場合の使用形態	<input type="checkbox"/> 賃貸借 ・ その他 ()	

(2) 施設及び設備に関する事項

増改築内容

棟・階	変更前		変更後		備考 (設備等)
	用途	面積	用途	面積	
8階 南病棟	3B 地域包括	24.522㎡	看護部長室	24.522㎡	看護部長室
	3B 地域包括	25.648㎡	倉庫1	25.648㎡	倉庫1
	3B 地域包括	25.648㎡	2B 療養	25.648㎡	3人→2人
	3B 地域包括	25.648㎡	3B 療養	25.648㎡	
	3B 地域包括	25.648㎡	3B 療養	25.648㎡	
	3B 地域包括	25.648㎡	3B 療養	25.648㎡	
	3B 地域包括	25.648㎡	3B 療養	25.648㎡	
	3B 地域包括	25.648㎡	1B 看取室	25.648㎡	看取室

8階 東病棟	4B 地域包括	30.287 m ²	4B 療養	30.287 m ²	
	4B 地域包括	30.287 m ²	4B 療養	30.287 m ²	
	1B 地域包括	8.480 m ²	1B 療養	8.480 m ²	
	1B 地域包括	8.480 m ²	1B 療養	8.480 m ²	
			計 25 床		
	3B 倉庫	24.522 m ²	3B 療養	24.522 m ²	
	3B 倉庫	25.648 m ²	3B 療養	25.648 m ²	
	3B 倉庫	25.648 m ²	3B 療養	25.648 m ²	
	3B 倉庫	25.648 m ²	3B 療養	25.648 m ²	
	3B 倉庫	25.648 m ²	3B 療養	25.648 m ²	
	3B 倉庫	25.648 m ²	3B 療養	25.648 m ²	
	3B 倉庫	25.648 m ²	3B 療養	25.648 m ²	
	3B 倉庫	25.648 m ²	3B 療養	25.648 m ²	
	4B 倉庫	30.287 m ²	4B 療養	30.287 m ²	
	4B 倉庫	30.287 m ²	4B 療養	30.287 m ²	
	1B 倉庫	8.480 m ²	1B 療養	8.480 m ²	
	1B 倉庫	8.480 m ²	1B 療養	8.480 m ²	
		計 34 床			

(3) 人員に関する事項

人 員 配 置 計 画									
職 名	必 要 数		予 定 数	確 保 済 人員	職 名	必 要 数		予 定 数	確 保 済 人員
	前	後				前	後		
医 師	9.72	11.50	13.0	12.0	薬 剤 師	3	3	8.5	7.0
看 護 師	59.0	76.0	66.0	50.0	栄 養 士	1	1	4.0	3.0
准 看 護 師			10.0	10.0	放射線技師	/		5.0	4.0
看 護 補 助 者	17.0	31.0	31.0	17.0	調 理 師	/		4.0	2.5
臨床(衛生)検査技師	/		3.5	3.5	事 務 員	/		22.0	21.0
理学療法士	/		40.0	38.5	そ の 他	/		50.0	50.0
作業療法士	/		6.0	6.0	計	/		263.5	237.5

(4) 人員算定根拠及び計算式 (医療法第 21 条各項に基づく必要数)

※ 1 1 日当たりの一般および療養病床の入院患者数

- ・現状 ⇒ 一般 144 床 × 83% = 119.5 人、療養 68 床 × 97% = 65.9 人
- ・増床時 ⇒ 一般 144 床 × 90% = 129.6 人、療養 127 床 × 95% = 120.6 人

※ 2 1 日当たりの外来患者数

- ・現状 ⇒ 45 人
- ・増床時 ⇒ 45 人

※ 3 1 日当たりの外来取扱処方箋数

- ・現状 ⇒ 0 人
- ・増床時 ⇒ 0 人

① 医師の配置標準 (一般病床の入院患者+療養病床の入院患者/3+外来患者/2.5-52) ÷ 16 + 3

- ・現状必要人数 ⇒ 一般 144 床 + 療養 68 床 = 全体 212 床より
 $(65.9/3) + 119.5 + 18.0 - 52 = 107.4$ 人 ⇒ $107.4/16 + 3 = 9.7125$ 人
- ・増床時必要人数 ⇒ 一般 144 床 + 療養 127 床 = 全体 271 床
 $(120.6/3) + 129.6 + 18.0 - 52 = 135.8$ 人 ⇒ $135.8/16 + 3 = 11.4875$ 人
- ・現状態 常勤医 6 人 + 非常勤(常勤換算) 5.5 人 = 11.5 人

② 薬剤師の配置標準 一般 70:1、療養 150:1、外来(取扱処方箋数の)75:1

- ・現状必要人数 ⇒ $0.4 + 1.7 + 0 = 2.1$ 人 ⇒ 3.0 人
- ・増床時の必要人数 ⇒ $0.8 + 1.8 + 0 = 2.6$ 人 ⇒ 3.0 人

③ 看護師の配置標準 一般 3:1、療養 4:1、外来 30:1

- ・現状必要人数 ⇒ $16.4 + 39.8 + 2.0 = 59.0$ 人 ⇒ 59 人
- ・増床時の必要人数 ⇒ $30.1 + 43.2 + 2.0 = 76.0$ 人 ⇒ 76 人

④ 看護補助者の配置標準 療養 4:1

- ・現状必要人数 ⇒ $65.9/4 = 17.00$ 人 ⇒ 17 人
- ・増床時の必要人数 ⇒ $120.6/4 = 30.15$ 人 ⇒ 31 人

⑤ 栄養士の配置標準 ⇒ 100 床以上の病院に 1 人

⑥ 診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、事務員他 ⇒ 相当数

(5) 関係者との協議に関する事項

関 係 者	協議状況及び結果
地 元 医 師 会	2019年12月10日・兵庫区医師会 島正彦会長と面談後、理事会にて承認し意見書交付済。 2019年12月12日・中央区医師会 米田豊会長と面談後、理事会にて承認し意見書交付済。
市保健医療審議会 医療専門分科会	2020年3月11日 神戸市保健医療審議会医療専門分科会に出席 のうえ説明。
そ の 他	特にありません。

注) 地元医師会、市保健医療審議会医療専門分科会については、意見書等を添付すること。

一般社団法人神戸マリナーズ厚生会
理事長 井 上 一 成 様

意 見 書

この度、令和元年7月1日より医療法人元氣会由井病院より事業譲渡を受け新規開設、運営されている一般社団法人神戸マリナーズ厚生会由井病院から、令和2年7月1日より兵庫区から神戸マリナーズ厚生会ポートアイランド病院のある中央区に病床59床を移動させるとの報告を受けました。

この件に関し神戸市兵庫区医師会三役会で協議の結果、特に異議の無いことを記します。

地域の医療機関と連携され地域医療に貢献されることを期待いたします。

令和元年12月17日

神戸市兵庫区医師会

会長 島 正 彦



令和元年12月25日

一般財団法人神戸マリナーズ厚生会
理事長 井上 一成 様

神戸市中央区医師会
会長 米田 豊



意見書

このたび、一般社団法人神戸マリナーズ厚生会が、医療法人社団元気会より神戸市兵庫区内にあります由井病院の事業譲渡を受け、令和元年1年7月1日より、新設開設した経緯について伺いました。

また、令和2年7月1日より、由井病院のある兵庫区からポートアイランド病院のある中央区に病床59床を移動させることにつきましては、特に異議はございません。

新規開設又は増床を行おうとする病院の医療システム構築に関する申立書

病院名	一般財団法人神戸マリナーズ厚生 会 ポートアイランド病院	所在地	神戸市中央区港島中町 4 丁目 6 番地		
電話番号	078-303-6123	二次医療圏域名	神戸市	保健所名	神戸市保健所

1. 病院の特色（提供しようとする医療の内容）

(1) 医療の分野について（対象患者、診療科目等について）

内科・循環器内科・消化器内科・小児神経内科・心療内科・外科・整形外科・泌尿器科・皮膚科・リハビリテーション科、放射線科・人工透析内科、脳神経外科とし、特に地域への医療と透析診療に力を入れていく。

(2) 医療の専門性について（設備・医療スタッフ等についても記入すること。）

増床に先立って、透析診療に力を入れ、26床の透析台を46床と20床増設する。これに伴い、透析の専門医やスタッフの採用に努め、専門性を高める。また、外来診療を含めて糖尿病などの慢性合併症にも対応しており、実績もある。設備面では、MRI・CT(2019年新設)・アンギオ台(2019年新設)・X線など、旧機器の入替をおこないつつ、必要機器の増設もしている。

2. 当該診療圏域の状況

(1) 対象に考えている診療圏について

二次医療圏域名	区 名
神戸市	中央区

(2) 患者の特色及び医療ニーズについて

病院が所在する神戸市では、大規模な大学病院、医療センター等が多く存在しているため、神戸市外からの患者流入が顕著である一方、急性期医療終了後、在宅復帰が困難な患者の受皿が不足している。そこで、当病院はバックベッド機能として、地域医療と連携し、さらに透析患者の受け皿として病院を運営していきたい。

(3) 既存の医療機関について、（特に、提供しようとする医療が同じものについて）

① 病院の状況について

名 称	病床数	診 療 科 目	役割分担等についての方策	備 考
西記念ポートアイランドリハビリテーション病院	150	内科・循環器内科・脳神経内科・消化器内科・リハビリテーション科、放射線科・歯科	西記念病院との綿密な連携により、地域医療の役割分担をしたいと考えている。	

② 診療所の状況について

当病院は、近隣の診療所、めぐみクリニック、坪井クリニック、顔医院、藤本内科クリニック等と連携を密にしている。上記の診療所をかかりつけとされている患者に高度医療が必要となり入院加療された後、診療所の外来治療などへ戻るまでの過程で、ポストアキュート機能を活かし当病院へ入院され、これらの診療所にお戻りする役割を担っている。

(4) 対象に考えている患者の推定数及び将来予測について

最初に、閉鎖される由井病院からの入院・外来患者全員の移動を最優先として、当病院においては、地域包括ケア病床と回復期リハビリ病棟を中心に回復期病棟の運営を行う。増床後は、127床という医療療養病棟を運営することになる。初年度は、医業損失を取り戻すために、病床稼働率を100%として、次年度からは病床稼働率を90%以上に維持できると推定することから、常時244名程度の入院患者を抱えられるようにする。

3、医療のシステム化

(1) 取り組みたいこと又は、取り組んでいることについて

当病院においては、地域包括ケアシステムに資する医療の仕組み、すなわち、急性期から、亜急性期・回復期・維持期・在宅医療への患者の流れにつなげるべく、神戸市立医療センター中央市民病院の後方支援病院としての役割を果たすよう、連携パスの有効な運用に取り組んでいる。

(2) 医療機関との連携

医療機関名	内容	具体例	医療機関名	内容	具体例
神戸市立医療センター中央市民病院	①②③	紹介患者	神戸大学医学部附属病院	①	紹介患者
一般財団法人神戸マリナーズ厚生会病院	①②	紹介・健診	兵庫医科大学病院	①	紹介患者
神鋼記念病院	①	紹介患者	川崎病院	①	紹介患者
神戸赤十字病院	①	紹介患者	あんしん病院	①	紹介患者
独立行政法人労働者健康安全機構 神戸労災病院	①	紹介患者	中井病院	①	紹介患者
神戸低侵襲がん医療センター	①⑦	紹介患者	春日野会病院	①	紹介患者
神戸平成病院	①	紹介患者	神戸掖済会病院	①	紹介患者
新須磨病院	①	紹介患者	医療法人康雄会西病院	①	紹介患者

(注) 内容には、次のうちから該当するものの番号を記入すること。

- ①患者の紹介 ②連絡会の開催 ③後方病院、三次医療を受けもつ病院等への搬送
- ④共同症例検討会等の開催 ⑤検査の受託と委託 ⑥心電図の解折等診療情報の援助
- ⑦高額医療機器の利用 ⑧オープン病院的な運営 ⑨その他

(3) 医療機関以外との連携

機 関 名	連 携 の 内 容	備 考
ポート愛ランド。老健	当院外来にて透析患者や入所者の健康管理的な対応、在宅への復帰を目指す方への対応	
ポート愛ランド。老健 ムーチョ	当院外来にて特に透析患者に特化して、在宅復帰を目指す方への対応	
神戸海岸特養ケアセンター	長期入所、当院外来にて透析、ショートステイに対応し、当院医師の往診による病院～施設間の連携	
神戸老人保健施設 神戸ポートピアステイ	長期入所、認知症専門棟への紹介、従来型老健として費用面での相談への対応可、グループホーム、ショートステイの紹介	
介護老人福祉施設 ぼー愛	長期入所、ぼー愛デイサービスからの入所対応、ショートステイの紹介	

〈注〉医療機関以外としては、社会福祉事務所、老人保健施設、社会福祉施設（老人関係、精神関係、身障関係）等が考えられる。

(4) 地域保健医療活動等への参加（住民の健康管理等）

当病院においては、地域住民の健康管理を目的とした、「リハビリ体操クラブ」や「地域医療セミナー」を実施しております。引き続き、地域への広報を行いつつ、一般財団法人神戸マリナズ厚生会病院と連携して、島内の住民の健康診断やインフルエンザの予防接種などを実施する。

4. その他の特記事項

当病院の地域連携室は、近隣の医療機関が実施する医療連携に関わる会合等に積極的に参加し、常に密接な関係性を保つよう努めており、些細な相談にも対応できるように組織づくりをしている。

増床に要する資金

資金計画

(単位：千円)

項	目	所要額	財源内訳				備考	
			自己資金	借入金	補助金	その他		
建設 改良 費	施設整備費(購入費)							
	設計監理費							
	土地取得費							
	造成・外構整備費							
固定 資産 購入 費そ の他	医療機器購入費							
	什器備品購入費	50,000	50,000	0				
	改装費	50,000	50,000					
開設時運転資金		0	0	0				
その 他費 用								
計		100,000	100,000	0				

返済計画

(単位：千円)

借入金				返済計画					
借入先 (金融機 関名等)	返済条件			金額	初年度	次年度	3年度	4年度	5年度
	据置 期 間	償還 回数 <small>年回×年</small>	利 率 %		R2年3月	R3年4月～ R4年3月	R4年4月～ ～R5年3月	R5年4月 ～R6年3月	R6年4月 ～R7年3月
				元本					
				利息					
				元本					
				利息					
				元本					
				利息					
合計				元本					
				利息					
年度末借入金残額									

増床後損益の収支予算書（総括）

（単位：千円）

	初年度 (R3年3月)	次年度 (R3年4月～ R4年3月)	3年度 (R4年4月～ R5年3月)	4年度 (R5年4月～ R6年3月)	5年度 (R6年4月～ R7年3月)
I 医業収益	295,908	397,895	396,982	395,991	395,991
II 医業費用	297,026	386,471	386,763	386,672	386,672
医業利益(医業損失)	△ 1,118	11,424	10,219	9,319	9,319
III 医業外収益	-	-	-	-	-
IV 医業外費用	1,728	2,052	1,764	1,464	1,176
経常利益(経常損失)	△ 2,846	9,372	8,455	7,855	8,143
V 特別利益	-	-	-	-	-
VI 特別損失	-	-	-	-	-
税引前当期利益(税引前当期損失)	△ 2,846	9,372	8,455	7,855	8,143
当期純利益(当期純損失)	△ 2,846	9,372	8,455	7,855	8,143
前期繰越利益(前期繰越損失)	0	△ 2,846	6,526	14,981	22,836
当期末処分利益(当期末処理損失)	△ 2,846	6,526	14,981	22,836	30,978

「由井病院59床移転に伴うポンチ図面」

変更前(2020.3.11)

MRI	連絡通路	ポート愛ランド。老健(80床)		11F		
		ポート愛ランド。老健 ムーチヨ(84床)		10F		
別館	連絡通路	空き		9F		
		8西療養病棟(34床)	8北療養病棟(34床)	8東療養病棟(倉庫)	8F	
		7西障害者病棟(31床)	7北一般病棟(41床)	7南病棟(食堂・倉庫)	7東回リハ病棟(38床)	7F
		空き		6F		
		ポート愛ランド。ティケア		5F		
		人工透析室	中央材料室	手術室	4F	
		託児所		3F		
		検査科	薬剤科	外来・地域連携室・医事課	2F	
		総合受付	リハビリテーション室 チャイルド/ハビロパーク	放射線科 内臓センター		
		救急外来	栄養科	食堂	1F	
		防災センター	霊安室	女子更衣室	B1F	

変更



由井病院59床移転⇒
■8東療養(34床)■8南療養(25床)※内1床看取室

変更後(2020.7.1)

MRI	連絡通路	ポート愛ランド。老健(80床)		11F		
		ポート愛ランド。老健 ムーチヨ(84床)		10F		
別館	連絡通路	空き		9F		
		8西療養病棟(34床)	8北療養病棟(34床)	8東療養病棟(25床)	8東療養病棟(34床)	8F
		7西障害者病棟(34床)	7北地域包括ケア病棟(41床)	7南障害者病棟(25床)	7東回リハ病棟(44床)	7F
		空き		6F		
		ポート愛ランド。ティケア		5F		
		人工透析室	中央材料室	手術室	4F	
		託児所		3F		
		検査科	薬剤科	外来・地域連携室・医事課	2F	
		総合受付	リハビリテーション室 チャイルド/ハビロパーク	放射線科 内臓センター		
		救急外来	栄養科	食堂	1F	
		防災センター	霊安室	女子更衣室	B1F	

由井病院59床移転に関するロジカル図

		変更前 (2020.3.11)	➔	変更後 (2020.7.1)
7階	東	7東回復期リハビリテーション病棟(38床)		7東回復期リハビリテーション病棟(44床)
	西	7西障害者病棟(31床)		7西南障害者病棟(34床)
	南	7南病棟(食堂談話室・倉庫)		7西南障害者病棟(25床)
	北	7北急性期一般病棟(41床)		地域包括ケア病棟(41床)
8階	東	8東病棟(倉庫)		8東療養病棟(34床)
	西	8西療養病棟(34床)		同左
	南	8南地域包括ケア病棟(34床)		8南療養病棟(25床)
	北	8北療養病棟(34床)		同左

病床機能区分

		変更前 (2020.3.11)	➔	変更後 (2020.7.1)
急性期		41		0
回復期	回り八	38		44
	障害	31		59
	地域包括	34		41
慢性期		68	由井病院の 医療療養病床59床 ➔	127
		212床		271床
一般➔144床 療養➔68床				一般➔144床 療養➔127床